

大河原町KDBデータの分析結果

大河原町
(市町村名)

令和 3 年度 取組
2 年度 企画

<市町村の目指す姿>

ずっと暮らせる いつもどおり いままでどおり
～住み慣れた地域で元気に暮らせるまち～

医療費適正化の観点から見た健康課題分析

- 高血圧で治療している高齢者が多い
(KDBデータより)
- 宮城県内陸部自治体の塩分摂取量
男性9.5g 女性9.4g と高い (東北メディカルメガバンク 地域住民コホート調査報告書より)
- 国保の人工透析患者数が年々増えている (KDBデータより)
- 糖尿病性腎症・人工透析ともに男性が多い (KDBデータより)
- 血糖血圧脂質内服しているものの、受診勧奨判定値の人が多い (KDBデータより)
- 男性入院 脳梗塞 標準化医療費1.81 (KDBデータをもとにした分析より)
- 後期高齢者男女とも被保険者数の1割以上に脳血管疾患レセプトあり (KDBデータより)
- 要介護認定を受けている人の50.9%が心臓病あり (KDBデータより)
- 後期高齢者被保険者の約6.2%が健診・医療未受診者 (R元年度KDBデータより)
- 総世帯数の19.2%が高齢独居または2人のみの世帯 (第8期介護保険事業計画より抜粋)
- 町の支援体制として健診受診者にはフォローしているが、健診未受診・医療未受診・介護未受診者は今までフォローしていない状況
- (健診は無料であるものの) 経済的な苦しさを感じている人ほど健診を受診していない (介護予防・日常生活圏域アンケート調査より)
- 65歳以上 転倒に対する不安あり 48.7% (第8期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査より)
- 85歳以上の4人に1人以上が週1回以上外出しない (R2年度後期高齢者健康診査問診票より)
- オーラルフレイル3点以上の人 75歳以上: 66% (R2年度健康状態のアンケート集計結果より)
- 75歳以上になると運動機能低下・転倒リスク・閉じこもり・IADL低下があがる (第8期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査より)
- 健康状態が良いほど幸福度が高い傾向あり (第8期介護保険事業計画より)

健康課題解決に必要なこと

低栄養・健康状態不明者の把握・生活習慣病・重症化予防への取組

高齢による心身機能低下防止

壮年期からの高血圧対策が医療費削減に効果的

- ・ 集団健康教育で血圧管理の必要性について伝える
- ・ 家庭血圧の基準値について情報提供
- ・ 適塩に関する情報提供

糖尿病重症化予防の取組が透析による医療費増加を防ぐ (国保・後期両方)

- ・ 血糖血圧管理、塩分摂取、眼科歯科定期受診勧奨を伝える
- ・ 治療者が中断しないような声掛け
- ・ 男性が保健指導に参加するような工夫

生活習慣病治療者が心血管イベントを起こさないための取組が必要

- ・ 基礎疾患治療者が中断しないような声掛け
- ・ かかりつけ医と連携した保健指導

健康状態不明者を把握しフォロー

- ・ 健康状態の確認、必要時医療受診勧奨、介護サービスへの接続
- ・ 訪問し、健診受診勧奨
- ・ 健診に行きやすくなる工夫 (無料であることの周知・受けていない人への個別の声掛け等)

複合的・多角的なフレイル予防が必要 (後期・国保両方)

- ・ 歯科定期受診のすすめ
- ・ 転倒予防のための運動啓発
- ・ 閉じこもり予防のための地区教室の実施
- ・ 定期的な健康状態の確認
- ・ 低栄養予防プログラムにおいてフレイルの観点を盛り込む
- ・ 健康状態不明者のフレイル対策
- ・ 自然に健康相談できるような工夫 (健診時に相談事業を盛り込む等)